

サッカー全国大会



優勝 辰沼小学校 (5年生) **ひろかわ れいあ 怜吾 さん**

泣いた分強くなりました。

放課後は一人で自主練習。上達できず悔しくて涙を流すこともありましたが、それでも、コーチに教えてもらったことを次の練習までにできるようにと、動画でプロ選手の動きを研究しながら、できることを一つずつ増やしてきました。

努力を重ねた廣川さんはこの夏クラブチームで全国優勝。「上手いかわず、チーム内で言い合いになった時もあったけど、最後は気持ちを一つに頑張ったことでチーム力があがった」と力強く話します。

将来は、プロサッカー選手になりたいです。

三歳からボールを蹴り始めた廣川さん。大会でのポジションは左サイドバック。コーチから高く評価されるそのスピードをいかして、試合中は攻めにも守りにも精一杯走り、チームの勝利に大きく貢献しました。「信頼できるコーチがいたから」と感謝の気持ちを忘れません。「6年生になっても仲間と全国優勝したい。将来は、世界で勝負したい」と夢は大きくふくらみます。



第5回 全国中学生フェンシング選手権大会 フルール※

第5位 第一中学校 (2年生) **めくい 貫井 ゆら 由羅 さん**

日本代表 貫井 由羅

「リードされているときほど燃え上がる」と明るくハキハキと話す貫井さん。今年の全国大会でベスト8を決め、晴れて日本代表(U-15、U-17)に選出されました。

そんな貫井さんの強みは、毎日の練習で習得したパワーとスピード。そして忘れてならないのがハートの強さです。身長150センチと小柄ながら、大きい相手からの突きを全く恐れずに、堂々と攻め込みます。日々、自分より大きな男子生徒と練習することで鍛えられました。

原動力は「負けたくない」

来る日も来る日も練習を重ねる貫井さん。そんな貫井さんを突き動かす原動力は「負けたくない」という強い気持ちです。試合に負け続け、悔しい思いをした頃もありましたが、「次こそは」と前向きになることができた振り返ります。

「一瞬で勝負が決まるところがフェンシングの魅力。➤

一生楽しんでいきたい」と語ります。日本代表となった今後の目標は、「一つずつ勝っていくこと」。小さな騎士の世界に向けた挑戦が始まりました。

※ フルール
攻撃は突きのみで有効面は胴。攻撃をされた場合には、まず自身を守らなければならないなどのルールに従いプレイをする。

